

平成30年度 新潟県担い手経営発展推進大会開催要領

1 目 的

激動する国際情勢、急速に展開される農制改革など先の見通しが立てにくい中、①担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開（稼げる農林水産業）、②中山間地域農業の維持と農山漁村の多面的機能の発揮（暮らせる農林水産業）の実現のためには、担い手経営の安定・継続した発展はもとより、消費者ニーズを捉え、地域資源を活かした付加価値向上等の取組を地域一体となって進める必要がある。

このため、認定農業者等担い手の経営発展や地域における取組に資するよう、県内農業者及び関係機関・団体が一堂に会した担い手経営発展推進大会を開催する。

2 主 催 新潟県担い手育成総合支援協議会

3 日 時 平成30年12月20日（木）13時から16時まで

4 場 所 新潟市中央区上所2-2-2 「新潟ユニゾンプラザ 多目的ホール」
TEL 025-281-5511

5 参集範囲 認定農業者、農業法人、市町村、農業委員会、農業協同組合
農業共済組合、土地改良区、県関係機関・団体 他（約450名）

6 日程及び内容

時 間	内 容
13:00～13:05	○ 主催者挨拶 県担い手育成総合支援協議会会長（県農業会議石山会長）
13:05～13:35	<第1部> 平成30年度新潟県優良農業経営体等表彰式 ・優良認定農業者の部 経営改善部門 柏崎市（有）山波農場 様 村上市（株）あおぞら農産 様 生産技術革新部門 新潟市南区（株）M o i M o iファーム 様 6次産業化部門 新潟市西蒲区（有）ワイエスアグリプラント 様 十日町市（有）花水農産 様 販売革新部門 魚沼市 森山英昭 様 ・むらづくりの部 新発田市 米倉有機の里交流施設運営協議会 様
13:35～14:35 （質疑応答含）	<第2部> 研修テーマ『消費者ニーズを捉え、地域資源を活かした、経営発展戦略の展開』 ○ 事例発表 柏崎市（有）山波農場 様 様 新潟市西蒲区（有）ワイエスアグリプラント 様 （休 憩）
14:50～16:00 （質疑応答含）	○ 講 演 「100年後も雪国であるために」雪国文化を軸とした新たなブランド戦略について 講師 株式会社いせん 代表取締役 井口智裕 様
16:00	○ 閉会挨拶 県担い手育成総合支援協議会副会長（JA中央会）

講師 井口智裕氏 プロフィール



井口智裕（いぐちともひろ）1973年新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ。

Eastern Washington University 経営学部マーケティング科卒業。旅館の4代目として家業を継ぐ。1998年に同級会をターゲットとした新たな宿泊プランを企画し、当時スキー客とビジネス客が中心だった宿を8年間で大幅に経営改善を行った。その後2005年に社長に就任し、「湯沢ビューホテルいせん」を「越後湯澤HATAGO井仙」として大幅リニューアル。開業1年で各種メディアに取り上げられる繁盛旅館に変革。2008年には周辺7市町村で構成する「雪国観光圏」をプランナーとして立ち上げ、事業推進に尽力。2011年には旅館仲間3人で合同会社雪国食文化研究所を設立。地元産の農産物を活用したメニュー開発を進め、道の駅で2店舗の飲食店と食品加工場を運営する。また2013年には観光地域づくりプラットフォームである一般社団法人雪国観光圏を設立し、代表理事に就任。観光品質基準、人材教育、旅行商品開発、CSR事業など地域づくりの中核組織の推進を行っている。企業経営者としての第二創業や人材育成、また事業者として携わる観光地域づくりなど幅広いジャンルで講演などの実績がある。著書に『ユキマロゲ経営理論（2013年、柏艫舎）』がある。

(参加報告様式)

平成 年 月 日

新潟県担い手育成総合支援協議会
(新潟県農業会議) 行き
(FAX 025-223-2401)

組織名 _____

平成30年度 担い手経営発展推進大会の参加報告

	所属	職名	氏名
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

※参加報告が12月7日(金)より遅くなる場合は、ご連絡願います。